「バイオ創造設計」

講義の趣旨： 従来のF2ゼミを一新し、バイオに関連した学生の創造性の育成を目的として本年度に新設された実習的講義。7類1年生全員（160名）が参加（必須科目）。

グループ編成：

7類学生全員を計20グループ（7、8名）に分ける。生命理工学部教員10名が主アドバイザーとしてそれぞれ2グループを担当する。各グループに主アドバイザー以外に副アドバイザーが付く。副アドバイザーは主アドバイザーと同じ専攻に所属するもう一人の教員。

実施課題：「バイオ教材の開発」

小学校の高学年から中学生程度の学生に対して、バイオに関するテーマ（遺伝子組み換え、ゲノム、アミノ酸、光合成、人工臓器、ガン、アルツハイマー、環境ホルモンなどバイオに関連したことなら、何でも可）を教えるための具体的な教育手法やツールを7、8名のグループ単位で考案する。小、中学生の前で実験を行ったり、自分たちが作った機材を使って何かを教えたり、様々な手法が考えられるが、与えられた予算の範囲内で行うことであれば何を行っても良い（ただし計画を立てるに当たっては教育的効果や内容の安全性に関しても充分注意すること）。あくまで学生自身が自主的にテーマ選びや実施内容の創意工夫を行うことを前提とする。

実施場所： 別紙を参照のこと。

スケジュール： 原則として木曜3、4時限目に行う。詳しくは各教員と相談すること

- 6月30日 説明会の実施。連絡先、夏休みの日程確認。
- 7月7日 担当教員との顔合わせ（6月30日にできなかった場合）
- 夏休み中 テーマの考案、調査等
- 9月頃 夏休み中の中間報告（主アドバイザーと日程を相談すること）
- 10月6日 計画発表会（グループ毎、最低一人1つずつアイデアを出すこと。）
- 12月中 グループごとの発表会（主アドバイザーと行う）
- 1月19日 全体発表会（全日）

予算： 各グループ10万円まで。物品を購入する際には各グループにアドバイザーとして参加する担当教員に必ず事前に相談すること

全体説明会： 生命理工学部・生命理工学研究科の全構成員に参加を呼びかける。

1グループ15分（10分説明、5分質疑）で計300分（5時間）

朝9:00開始、午前12:00まで、午後1:00から3:00まで。審査員が内容を審査。内部審査員以外に、企業等外部から審査員を招聘。終了後、懇親会開催。1位、2位、3位には賞状等を用意。特に優秀なグループは外部で発表の機会を与える。